

体育学部実技試験について

体育学部志願者に課せられる体育実技試験の内容はそれぞれ以下のとおりです。

[スポーツ特技型・特技能力型]

■ 公募推薦選抜(A日程) ■ 一般選抜で実施。

※ 以下は試験課題例です。課題内容は変更になる場合もあります。

種目	試験内容
陸上競技	インターハイ種目より1種目選択 ただし、3000mSCは男女とも除く
体操競技	男子：ゆか、あん馬、つり輪、跳馬、平行棒、鉄棒 女子：跳馬、段違い平行棒、平均台、ゆか それぞれの種目の基礎的技能の確認
水泳競技	競泳：自由形は50～400m以下、他は100m以上の公式種目の中から1種目選択
バレーボール	オーバーハンドパス、アンダーハンドパス、オーバーハンドロングパス 対人レシーブ、スパイク、サーブレシーブ、ディグ、ブロック、トス(セッター)
バスケットボール	ファンダメンタルスキル(ドリブル、シュート、パス)、ミニゲーム
ハンドボール	フットワーク(OF、DF)、パス、シュート(ステップ、ランニング、ジャンプ)、 対人スキル1:1、2:2(OF、DF)〈GKについては、フットワーク、キーピング、スロー〉、ゲーム、体力測定
サッカー	ドリブル、シュート、パス、対人、ゲーム
ラグビー	スピード・パワー測定、パス・キック・ポジションスキル
ホッケー	ドリブルシュート、ヒットとプッシュアップのストローク、フォアとリバースのレシーブ
硬式野球	50m走、ティーバッティング(木製バット使用)、ノック、ピッチング(投手)
テニス	グラウンドストローク、サービス、ボレー、スマッシュ、ゲーム(シングルスゲームまたはダブルスゲーム)
ソフトテニス	グラウンドストローク、サーブ、レシーブ、ボレー、スマッシュ、ゲーム又はゲーム形式・体力測定
バドミントン	フットワーク、ステップ、基本ストローク、シングルスゲーム
ダンス	ダンスの基本運動(いろいろなステップ、ターン、ジャンプなど)簡単な創作
柔道	打ち込み、寝技乱取稽古、立技乱取稽古
剣道	切り返し、基本打突、しかけ技、応じ技、かかり稽古、試合稽古
空手道	基本：突き、蹴 左右20本 形：1つ(全日本空手道連盟・指定形) 組手：約1分間
その他	競技成績証明書をもとに面接

[スポーツ総合型]

■ 公募推薦選抜(A日程)で実施。

体育学部のスポーツ総合型の実技試験にあつては、各群よりそれぞれ1種目、合計3種目を選択して受験する。

- I群(4種目①～④)から1種目を選択
- II群(2種目⑤～⑥)から1種目を選択
- III群(3種目⑦～⑨)から1種目を選択

群	領域	種目	試験内容
I	器械運動	① マット運動	次に示す一連の演技を行う 「片足水平立ち(2秒静止)、側方倒立回転～伸膝前転、倒立前転～その場とび1/2ひねり～後転倒立」
	陸上競技	② ハードル走	3台 男子 高さ838mm、インターバル6.5m or 7.5m 女子 高さ762mm、インターバル6m or 7m
	水泳	③ クロール	25m(水中からのスタート)
		④ 平泳ぎ	25m(水中からのスタート)
II	球技	⑤ バスケットボール	パス、ドリブルからのシュート
		⑥ バレーボール	オーバーハンドパス、アンダーハンドパス
III	武道	⑦ 柔道	礼法、受け身、補助員を相手に指定された技を(3回)行う
		⑧ 剣道	礼法、空間打突(素振り)、足さばき
	ダンス	⑨ 創作ダンス	課題曲にあわせて約40秒踊る

[基礎運動能力型]

■ 一般選抜で実施。



握力

● 試験は1回(右左2回ずつ)とする

● 方法

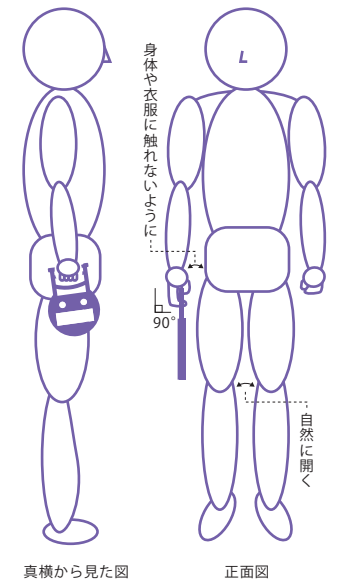
- 握力計の値の表示面が外側になるように持ち、図のように握る。この際、人差し指の第2関節が、ほぼ直角になるように握りの幅を調節する。
- 直立の姿勢で両足を左右に自然に開き腕を自然に下げ、握力計を身体や衣服に触れないようにして力いっぱい握りしめる。この際、握力計を振り回さないようにする。

● 記録

- 右左1回ずつ、練習を行う。
- 右左交互に2回ずつ実施する。
- 記録はキログラム単位とし、キログラム未満は切り捨てる。
- 左右おのおののよい方の記録を平均し、キログラム未満は四捨五入する。

[実施上の注意]

- このテストは、右左の順に行う。



立ち幅跳び

● 試験は2回とする

● 方法

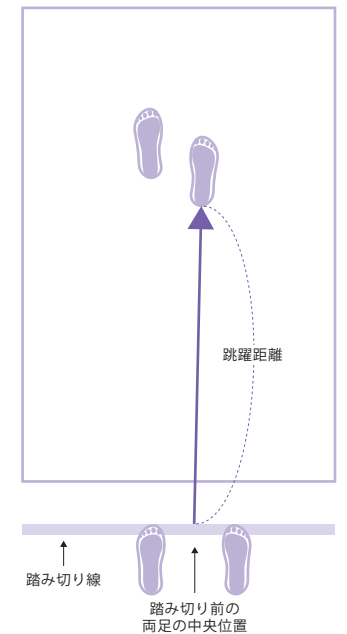
- 両足を軽く開いて、つま先が踏み切り線の前端にそろうように立つ。
- 両足で同時に踏み切って前方へとぶ。
- 両腕の動作を使ってもよい。

● 記録

- 練習を1回行う。
- 身体がマットに触れた位置のうち、最も踏み切り線に近い位置と、踏み切り前の両足の中央位置(踏み切り線の前端)とを結ぶ直線の距離を計測する(図を参照)。
- 記録はセンチメートル単位とし、センチメートル未満は切り捨てる。
- 2回実施してよい方の記録をとる。

[実施上の注意]

- 踏み切りの際には、二重踏み切りにならないようにする。
- 着地時に、着地した足が動いた場合はやり直しとするが、1回までとする。



■ 基礎運動能力採点基準 テスト得点表から修正 - 実技の採点は各100点、200点満点とし100点に換算する(2分の1)

得点	男子 握力	女子 握力	男子 立ち幅跳び	女子 立ち幅跳び
100	56kg 以上	36kg 以上	265cm 以上	210cm 以上
90	51～55	33～35	254～264	200～209
80	47～50	30～32	242～253	190～199
70	43～46	28～29	230～241	179～189
60	38～42	25～27	218～229	168～178
50	33～37	23～24	203～217	157～167
40	28～32	20～22	188～202	145～156
30	23～27	17～19	170～187	132～144
20	18～22	14～16	150～169	118～131
10	17kg 以下	13kg 以下	149cm 以下	117cm 以下

※ 新体力テスト実施要項(12歳～19歳対象)文部科学省